

The background of the page features a collection of ancient clay figurines and fragments. In the upper portion, there are several standing human-like figures, some with distinct heads and bodies. Below them, a large, more complex fragment is visible, possibly a larger figurine or a piece of pottery. The lower half of the image is dominated by numerous smaller, irregular fragments of clay, some showing signs of being broken or unfinished. The overall scene is set against a dark, textured background, possibly a museum display or a collection of artifacts.

Ⅱ 飛鳥・藤原宮跡等の調査概要

表20 2011・2012年度 都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区） 発掘調査・立会調査一覧

調査回数	調査地区	遺 跡	調査期間	面 積	調査地	担当者	調査要因	掲載頁
(2011年度)								
168-9次	5AJH-L	藤原京右京七条一坊、朱雀大路	2011.11.21～2012.3.23	336㎡	橿原市上飛驒町、高殿町	高橋 透 他5名	水路改修	106
171次	5AKG-L	甘樫丘東麓遺跡	2011.9.22～2012.4.26	880㎡	明日香村川原	小田裕樹 清野孝之	学術調査	112
(2012年度)								
174次	5AJF-N、5AJG-H	藤原宮朝堂院朝庭	2012.4.2～2012.12.17	1,850㎡	橿原市高殿町	廣瀬 覚 今井晃樹 森川 実	学術調査	86
175次	5AJF-D	藤原宮東方官衙北地区	2012.4.2～2012.6.25	494㎡	橿原市高殿町	森先一貴	学術調査	97
176次	5BHQ-C・R	檜隈寺周辺	2012.8.1～2012.9.7	140㎡	明日香村檜前	黒坂貴裕	公園整備	128
177次	5AKG-J・K	甘樫丘東麓遺跡	2012.12.3～継続中	1,038㎡	明日香村川原	森川 実 桑田訓也	公園整備	112
173-1次	5AJA-J・K・P・Q	藤原京左京二条三坊、三条三坊	2012.11.1～2012.12.11	356㎡	橿原市法花寺町	木村理恵	水路改修	108
173-2次	5AME-Q、5BAS-Q	飛鳥寺	2012.11.2～2012.11.9	43㎡	明日香村飛鳥	廣瀬 覚 番 光	共同溝試掘	84
173-3次	5AJF-C・D	藤原宮東方官衙北地区	2012.12.4、2012.12.10、2013.3.8	196㎡	橿原市高殿町	森先一貴 荒田敬介	整備工事	84
173-4次	5AJH-L・S	藤原京右京七条一坊、四分遺跡	2013.1.21～2013.3.6	151㎡	橿原市上飛驒町	若杉智宏 荒田敬介	水路改修	84
173-5次	5AMD-P～T	石神遺跡	2013.2.22	250㎡	明日香村飛鳥	山本 崇 荒田敬介	水路改修	84
173-6次	5AJE-E・F、5AJA-T・U	藤原宮東北官衙地区	2013.2.8	1㎡	橿原市高殿町	木村理恵	現状変更	84
173-7次	5AJH-S	藤原京右京七条一坊	2013.2.5～2013.2.6	5㎡	橿原市上飛驒町	木村理恵	水道管工事	84
173-8次	5ANI-P	キトラ古墳	2013.2.18～2013.2.27	-	明日香村阿倍山	若杉智宏	学術調査	84
173-9次	5AJF-K	藤原宮内裏	2013.3.6	2㎡	橿原市高殿町	庄田慎矢	現状変更	84

表21 2012年度 都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区） 小規模調査等の概要

調査回数	遺 跡	調 査 の 概 要
173-2次	飛鳥寺	明日香村内電線地中化にむけた試掘調査。道路上に設けた試掘坑13カ所のうち、飛鳥寺旧境内にあたる8カ所において、地表下0.6～1.0mに瓦片が大量に堆積する状況を確認した。
173-3次	藤原宮東方官衙北地区	集会所の給水管および浄化槽設置にともなう立会調査。給水管設置箇所の掘削は造成土、既設水道管および道路擁壁の掘方内部であり、遺構は確認されなかった。浄化槽部分では藤原宮期以前と思われる柱穴3基を検出したため、浄化槽位置を変更した。
173-4次	藤原京右京七条一坊、四分遺跡	大和紀伊平野土地改良事業にともなう事前調査。今年度施工部分120mのうち、20m分は発掘対応、残りは立会調査とした。素掘溝7条、柱穴25基、土坑5基などを確認した。これらの遺構の多くは、藤原宮期以降のものと考えられる。
173-5次	石神遺跡	大和紀伊平野土地改良事業にともなう立会調査。史跡水落遺跡と石神遺跡を縦貫する農業用水路の溝蓋改修にともない、掘削をおこなった。掘削は遺構面に達しなかった。
173-6次	藤原宮東北官衙地区	隅田池堤防のフェンス設置にともなう立会調査。30cm四方の穴を地表下60cmまで9カ所で掘り下げたが、掘削したのは現代の堤防にともなう盛土であり、遺構に影響のないことを確認した。
173-7次	藤原京右京七条一坊	水道管工事にともなう立会調査。既設管設置時の掘削範囲にとどまり、遺構面に達しなかった。
173-8次	キトラ古墳	2004年5月に盗掘孔に設置された石室進入装置を取り外し、装置により覆われていた盗掘孔周囲を中心に精査および記録作業をおこなった。また石室内の再精査も実施し、新たに50カ所以上で朱線を確認した。
173-9次	藤原宮内裏	特別史跡藤原宮跡警備員室整備工事にともなう立会調査。掘削は深さ30cmで、遺構面に達しなかった。

表22 2012年度 都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区） 現場班編成 ※総担当者

春	夏	秋	冬
※廣瀬 覚（考古第一）	庄田 慎矢（考古第一）	木村 理恵（考古第一）	石橋 茂登（考古第一）
玉田 芳英（考古第二）	荒田 敬介（考古第二）	※森川 実（考古第二）	若杉 智宏（考古第二）
森先 一貴（考古第三）	※今井 晃樹（考古第三）	清野 孝之（考古第三）	※桑田 訓也（史料）
番 光（遺 構）	黒坂 貴裕（遺 構）	山本 崇（史料）	高橋知奈津（遺 構）
	星野 安治（埋文センター：研修）	松下 迪生（遺 構：研修）	
総括：副部長 杉山 洋	写真担当：企画調整部写真室	保存科学：降幡 順子（考古第一）	